

令和 8 年度第 1 回

岡崎市美術博物館協議会会議録

1 開催日時及び場所

令和 8 年 7 月 23 日（木）13：58～15：50

岡崎市美術博物館 1 階会議室

2 出席委員（定数 9 名）

会 長	井上 瞳	（学識経験）		
副 会 長	野田 光宏	（社会教育・家庭教育）	山崎 彰伯	（学校教育）
	長坂 博子	（学校教育）	林 羊歯代	（学識経験）
	太田 公典	（社会教育）	三輪 哲也	（市民公募）
	荒井 信貴	（学識経験）	広瀬 八重子	（市民公募）

3 館長及び説明のため出席した事務局職員（10 名）

美術博物館特任館長	榊原 悟	社会文化部長	山田 能正
美術博物館長	大澤 一実	美術博物館副館長	原林 基昭
美術博物館学芸係係長	佐藤 卓也	美術博物館管理係係長	鈴木 由香里
地域文化広場館長	谷澤 雅代	地域文化広場副館長	天野 幸枝
美 術 館 長	倉橋 浩二	美術館長代理	山内 元彰

4 会議の成立

事務局より、委員 9 名のうち 9 名が出席のため、岡崎市美術博物館管理規則第 8 条第 2 項の規定により、本日の会議は成立していることを報告した。

5 会議の内容

次第 1 報告事項

（1）令和 7 年度 展覧会開催結果について

議 長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和 7 年度に実施した地域文化広場の展覧会について、入場者数、各種企画内容等を資料に沿って説明）

議 長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員 A＝地域文化広場の大屋根設置後の機能的な拡充のアピールの必要性を感じた。音響は良いと知人よりコメントを得ている。

委員B＝夏休みに入って数日ですが、酷暑のなか施設の利用状況は。

事務局＝野外ステージでは和太鼓の演奏と体験、ものづくり教育会議とコラボした工作等活用してもらっている。

(2) 令和8年度 展覧会開催状況について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（美術博物館の展覧会の入場者数、各種企画内容、今後予定している展覧会等の内容を資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員A＝7月4日の初日に来た。改めて30周年にふさわしい、収蔵品の領域、種類、それらの質と数量に感銘を受け、初公開、当館初、久々に表示されたものがいくつもあり充実していた。ただ、表示は少々控え目で、本邦初公開を強調してもよかったのでは。キャプションを読んで、展示に対する、想いが様々に感じられた。

出口のボードの4象限に「一人でじっくり」のシールの多さに歓声が上がり、館内を見て回るスタッフの姿は、30周年にかける熱意を随所に感じた。

特に好印象を持ったのは、入口のマグリット2点に感動し、白黒テレビにメタフォリックな意味を持たせる面白さや、シュルレアリスムの辺縁を丁寧にカバーしていた。着物の展示としての素晴らしさを新発見、歴史的展示も堪能できた。美術的価値に限らず歴史的価値のある展示に改めて感心し、トリビア的なものを個人的には得られた。

30周年を飾るにふさわしい展示会として感銘を受けた。

委員C＝今年度、国島征二展が開催される。テレビで初めて知ったが、岡崎でも知らない人もいる。取り上げてもらえて、興味をもってもらえるのはありがたい。

委員D＝楽しみにしていたので初日に来た。構成が面白く満足感があつた。図録を購入してじっくりと読むと、章ごとのタイトルとそこに含まれる構成、岡崎の視点が含まれ、確認するのが楽しかった。私のように楽しみにしていた方は、図録を購入していて、今年から電子決済で購入できる。

対話型ギャラリートークとは、誰と対話するのか。

事務局＝先日7月20日に開催し、20名程が参加。5つくらいの作品の前で学芸員と参加した人の話を聞きながら作品を見て回りました。

委員D＝次回、参加したい。もっと宣伝したほうがいい。

事務局＝市政だより6月号、開館初日に中日新聞でとりあげいただき7月6日の無料開館は想定以上の1,200人の来館者があり、今回の展示は作品数も多く通路が狭いため、ギャラリートークはスペースが確保できる作品を選び鑑賞した。

委員D＝会期が9月13日までで、入館者3,047人中1,200人が無料の日、かなり早いペース来館している。

今回の展覧会は、過去に出会った作品を改めてじっくり見ることができ、改めてお礼を言いたい。

委員E＝今見て来たが、企画した方の所々に工夫があつてとても面白かった。

ギャラリートークのような作品の鑑賞、特に現代美術系に関しての作品の鑑賞を中高生むけて、やってほしい。

今回の展覧会、すごくいいが作品の種類が多いので、その場で検索ができて調べられるとよい。

議長＝今どきは音声ガイドもダウンロードできるところがある。

委員E＝今回の展示は、自分で調べたらもっと楽しいと思った。

議長＝ご検討ください。

事務局＝（地域文化広場の展覧会の入場者数、各種企画内容、今後予定している展覧会等の内容を資料に沿って説明）

委員B＝目標入場者数の数字はどのように設定しているのか。

事務局＝目標入場者数は、リトルアーティスト展は実績を踏まえて、展覧会は似ている展覧会を参考に期待を込めて多めに設定しているものもある。

委員D＝前回の会議で発言したがアールブリュット展に、すてきなキャプションがあったが、次に行ったらなくなっていた。もうやらないのかなとがっかりした。継続の予定はありますか。すごく大事なことだと思っている。

事務局＝学校団体制作作品については紹介パネルを作成したが、前期展は個人制作のため個人や作品の背景を紹介するキャプションの制作は難しい。

委員D＝アールブリュット展、全般の解説が必要では。

議長＝ご考慮ください。

委員A＝アールブリュット展も4月から更新されたが、改めてハイライトしていくことの必要性を感じた。

（３）令和７年度新収蔵資料について

議長＝説明をお願いします。

事務局＝（令和７年度に購入又は寄附・寄託を受けた作品・資料について説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

毎年、購入予算は使い切っているのか。

事務局＝購入を予定しているものを予算要求し、収集委員会に諮り購入している。

（４）教育普及事業について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和７年度の教育普及事業について、資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員E＝志賀理恵子さんのトークイベントあったことを知らなかったが、展覧会の予定はあるのか。

事務局＝予定している。

（５）美術館展示利用実績について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和７年度の美術館入場者数、展示室の稼働率等について、資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員Ｅ＝以前の会議でも話したが、施設も古く照明が暗い等使い勝手のこと以外に、美術館を利用する方々も高齢化で展示するのに苦労している。若い方は少ないが、全体の稼働率は変わっていない。作品を美術館に展示することが生きがいにもなっている、展示中に何かあってはいけなないので対応をお願いしたい。

次第２ 議事

令和９年度開催予定の展覧会について

議長＝それでは議事の令和９年度開催予定の展覧会について、事務局から説明をお願いします。

事務局＝（美術博物館展覧会について、開催予定期間、内容等を資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

酒井忠次展について伺いたい。

特任館長＝四天王の１人の酒井忠次のコレクション、鶴岡で致道博物館になっていて、重要文化財含む酒井家の品々を紹介する。

議長＝美術博物館は、歴史系と美術系のバランスで展示をするのか。

事務局＝はい。

事務局＝（地域文化広場展覧会について、開催予定期間、内容等を資料に沿って説明）

委員Ｅ＝明和電機展、楽しい展示だと思いますが、小学生とか中学生は絶対知らないと思うのでサブタイトルで何か伝わるものが欲しい。

議長＝ご検討いただきたい。

議長＝ご意見がなければお諮りします。令和９年度に開催予定の展覧会の事務を執り進めることについて、承認してよろしいでしょうか。

（全員承認）

議長＝令和９年度開催予定の展覧会計画については、承認されました。事務局におきましては、ただいまの意見を踏まえて、準備を進められるようお願いをいたします。全体を通してご意見ください。

委員Ｇ＝今回の展覧会を見て、以前勤めていた地域の地名や絵図、文書で当時のトラブルがわかりとても興味深く見た。自分は展覧会を見る機会があり、心を揺さぶることができたが「窓－そこに介在するもの」という展覧会名で見て欲しい方々に伝わらないのが残念だ。

開館当時にマインドスケープミュージアムという名前の意味が分からなかったが、30年経って改めてこの展示で意図がわかった。地元のお寺に貴重なものがあると岡崎の方はどれだけわかっているのか美術博物館が岡崎になくってはならないものだと宣伝したほうがよい。

目標値も大事だが、安全で楽しく見てもらうことが大事、入場者が多ければいいわけではない。目標値を立てるときの、要素を説明してもらえて、数値が生かされてくるとよい。

アールブリュット展も、リトルアーティスト展もとてもいい展示だが、部屋を分けるべきなのか一緒に置いてもよいのでは。

議長＝教育の研究会が必要な重要なテーマだと思う。

委員H＝私はよく公共交通機関を利用しますが、金山駅や地下鉄の駅で、美術館がどのように宣伝しているか意識している。市政だより以外で、宣伝をしている、力を入れていているスポットがあれば教えて欲しい。

事務局＝岡崎市が確保している駅の掲示スペース、市内の公共施設等、他市の美術館等に郵送している。小中学校は予算上の関係で全生徒への配布ができなくなってしまった。Instagram等、広報課のライン、今回の展示は中日新聞に連載で掲載している。

委員E＝後期の展示も中日新聞に掲載されるのか。

事務局＝前期のみです。

委員E＝市政だよりはもう一度、掲載されるのか。

事務局＝6月号のみだが、6ページの特集が生まれ、チラシ以上に掲載されている。

委員E＝市政だよりに定期的に掲載されて、1日無料の日を作り口コミで来館してもらえると宣伝になる。

事務局＝美術博物館に来てくださる年齢層は、市政だよりや新聞をよく読んでいる。

議長＝広報につきましては、予算のかからない方法で皆様のお知恵を拝借したい。

委員F＝市内にある跡継ぎのいないお寺に保管されている重要文化財を、美術博物館の学芸員が調査し収蔵庫に収めると聞いている。何もしなければ、お寺の本山に引継がれてしまう地域資料を岡崎に残すことができるのはよいことだと思う。

議長＝予定の議事は終了しましたが、「3 その他」について、何かありますか。

事務局＝特にありません。

閉会あいさつ

特任館長＝本日は貴重なご意見を頂戴し、また、令和9年度の展覧会についても承認をいただき、ありがとうございます。今回の展覧会で委員Gがマインドスケープミュージアムのご意見いただきありがたい。マインドスケープを外す意見もあった。30年継続しコレクションした、今回の展覧会を含めて評価いただきうれしい。

委員Aからご指摘いただいた地域文化広場の大屋根の活用について、リトルアーティスト展や造形教室、音楽教育と絡めたり、学校教育も含めて検討していく価値がある。委員Eからご指摘いただいた、展示作業の件は今後考えていかなければならない。委員Fからも発言がありました、重要文化財は私も岡崎から出すべきではないと言明し、すべて引取ることができた。次は何年か先に、引取った文化財を活用した自主企画展を次の30年に向けて頑張っていきたいご指導よろしく願いいたします。長時間ありがとうございました。

事務局＝以上で令和８年度第１回岡崎市美術博物館協議会を終了させていただきます。
次回は２月に令和８年度の第２回会議を予定しておりますので、よろしくお願い
します。本日はありがとうございました。

—以上—